

# 一般演題発表データ 作成マニュアル

# オンライン学会の開催にあたり、発表者の皆様には事前に発表データを登録していただきます。

録画方法の「①ご自身で撮影」を選んだ方は以下のマニュアルに沿って発表動画データを作成・登録してください。

- 一般演題発表演題データ用の動画作成方法 ⇒ P.2
- 発表動画データの登録(アップロード)  
⇒学会ホームページで改めてお知らせ致します

# 一般演題発表の皆様には、「音声付き発表スライド動画データ」を登録いただきます。

PowerPointには音声(ナレーション)を録音する機能があり、スライド送りのタイミングなども同時に記録することが可能で、動画データに変換する機能もあります。(PowerPointはバージョン2010以降をご使用ください)

ここでは事前に作成した、通常の発表用PowerPointスライドに加え、以下の作業を中心にご説明いたします。

- ・発表スライドへの音声(ナレーション)埋め込み方法
- ・動画ファイル出力方法

(ご使用になるPowerPointのバージョンによっては、メニュー等が異なる場合があります。詳細は以下、Microsoft サポートも参照してください。)

[スライドショーをナレーションとスライド切り替えのタイミングとともに記録するプレゼンテーションをビデオに変換する](#)

# 1. 通常のPowerPointによる発表データと同様の手順で、発表スライド用のファイルを作成します.

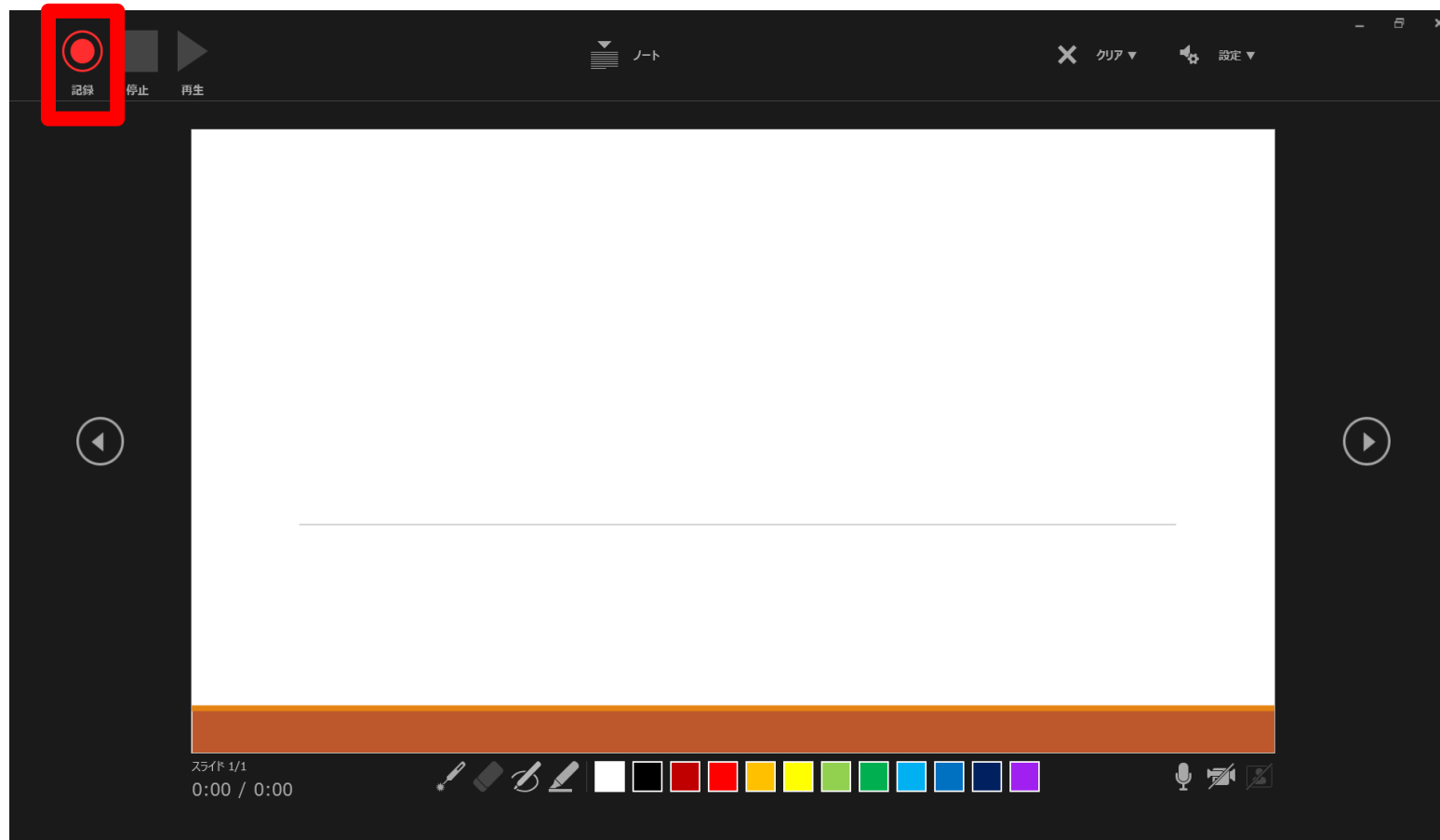
- 1枚目：演題名スライド(セッション名, 講演番号, 演者氏名, 所属等)
- 2枚目：COIの有無および状態について申告してください
- スライドのページ数に制限はありませんが、最終的に動画変換した際の再生時間は7分以内とします
- Web開催期間中、登録された発表スライドは、ダウンロードできないよう設定しておりますが、スマホなどでの「撮影」や「PCの画面録画」を防ぐことはできません。発表スライドデータの内容はすべて、演者の判断に委ねますことを予めご承知おきください。

## 2. 発表スライドへの音声(ナレーション)埋め込み方法

- PCと外付けのマイクをつないで音声の録音を行います。(ノートPCは内臓マイクで録音は可能ですが、ノイズの影響が大きくなります。ヘッドセットなど、外付けマイクの使用を推奨します)
- ①「スライドショー」をクリックします
- ②「スライドショーの記録」をクリックします
- ③「先頭から記録」をクリックします

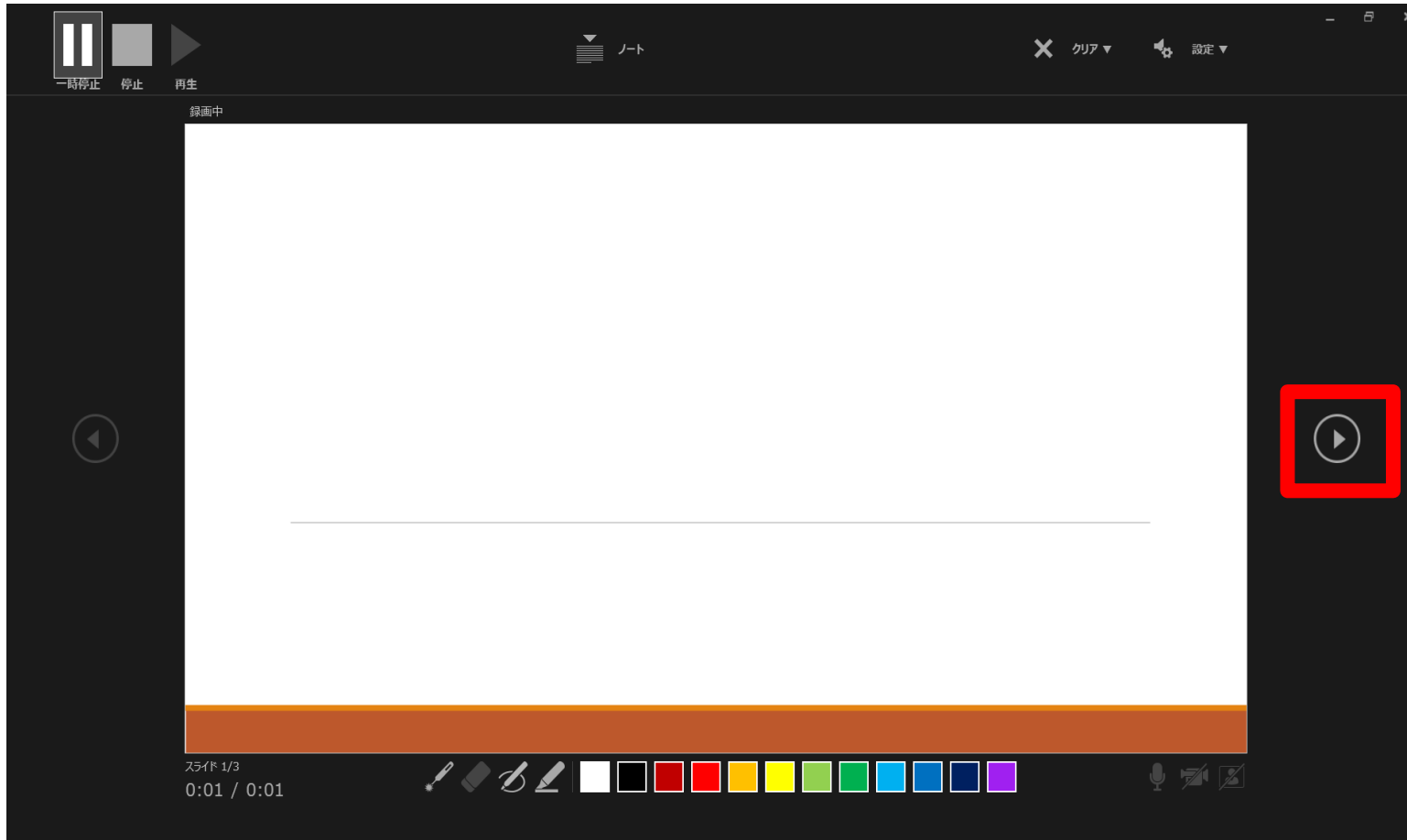


#### ④「記録の開始」をクリックします



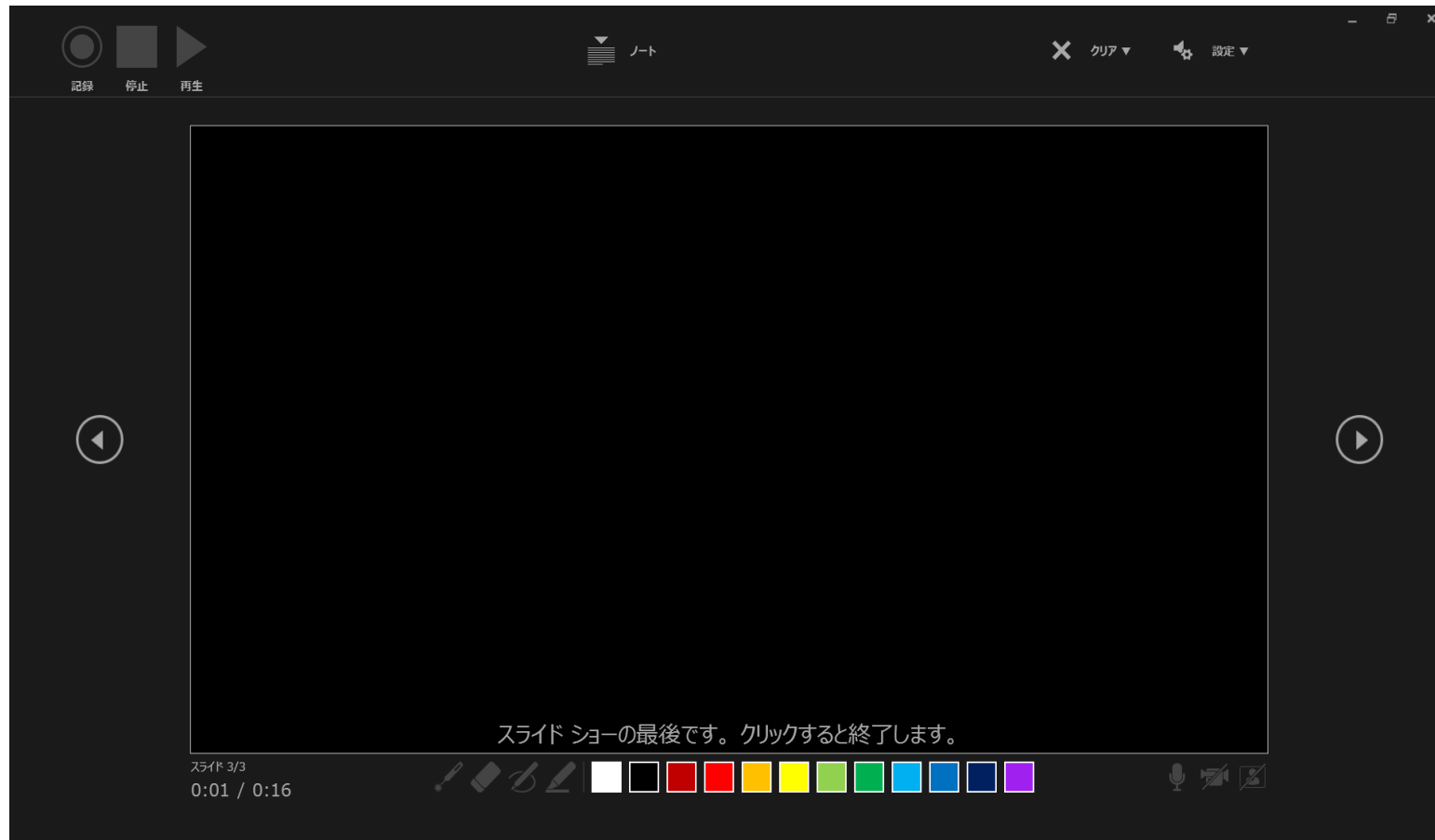
## ⑤ナレーションの録音

通常の発表と同様に口演をマイクに向かって行いスライドを切り替えながら録音を行います。



ここをクリックすると  
次のスライドへ進みます

# 最後のスライド



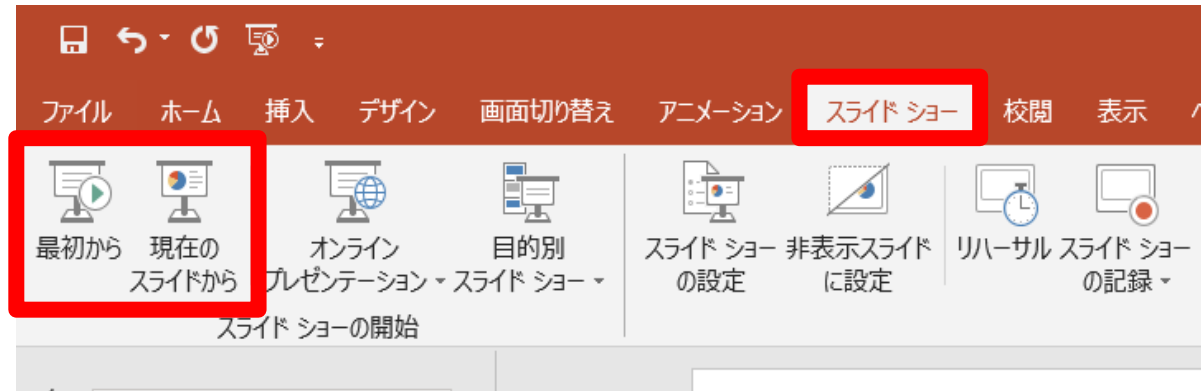
最終の黒画面から画面を  
もう一度クリックすることで  
終了します



# 記録したスライドショーのプレビューを表示する

[スライドショー] タブで

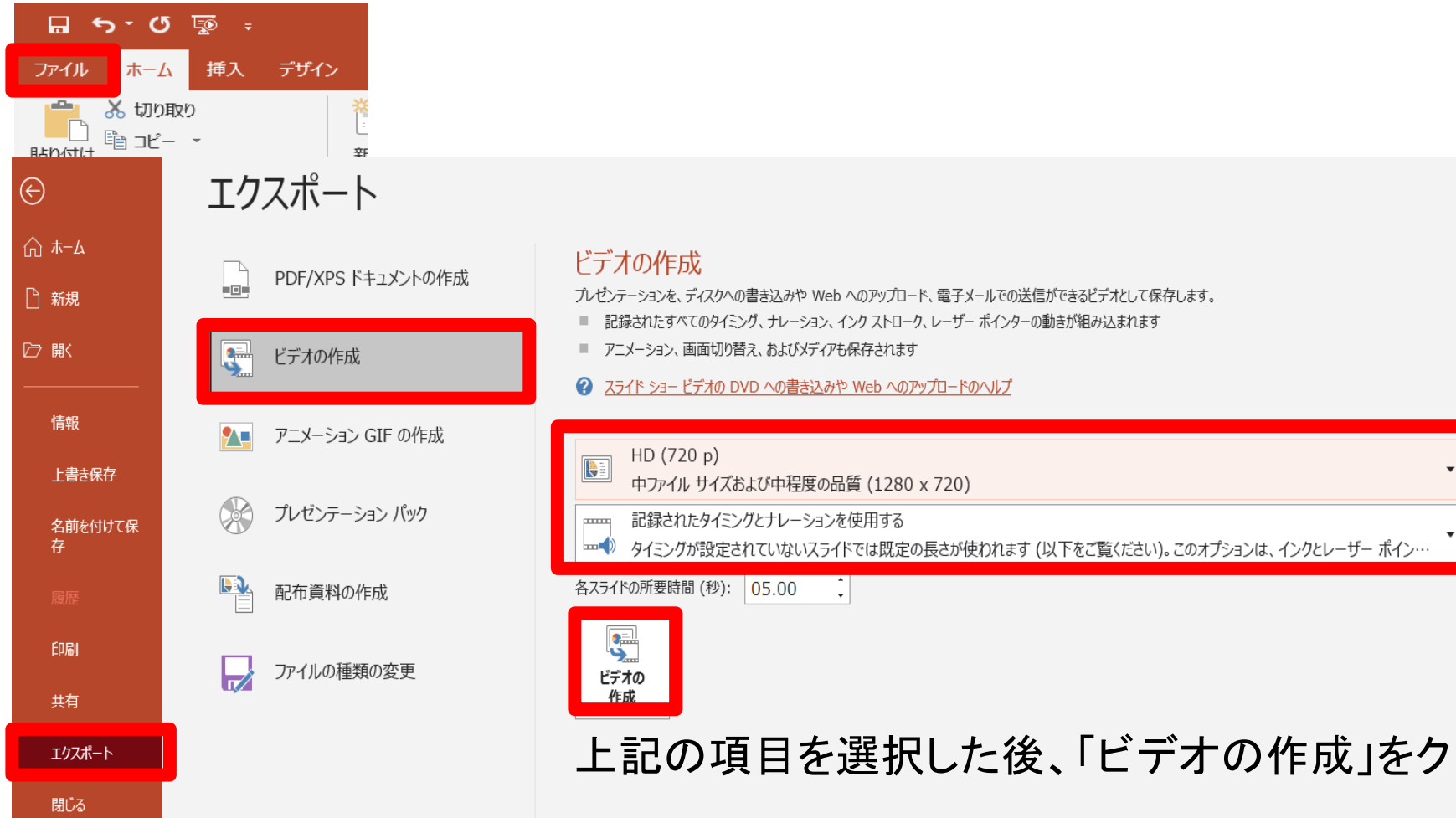
[最初] または [現在のスライドから] をクリックします。



※作成するスライドの再生時間は7分以内とします

### 3. 動画ファイルで出力する

[ファイル]メニューから「エクスポート」を選び、「ビデオの作成」を押すと、記録したタイミングと音声で動画を保存することができます。



中程度の品質(720)に相当するものを選んでください。

「記録されたタイミングとナレーションを使用する」を選択します。

上記の項目を選択した後、「ビデオの作成」をクリックします

「ファイルの種類」※<MPEG-4ビデオ>を指定して、「保存」ボタンをクリックします。  
※バージョンによっては<MPEG-4ビデオ> (\*.mp4)



PowerPointのウィンドウの下側に「ビデオ プレゼン.mp4を作成中」という表示が出るので、しばらく待つと動画への変換が終了します。

**※作成された発表動画ファイルの再生時間は7分以内とします**

# 参考資料

ご使用になるPowerPointのバージョンによりメニュー等が異なる場合があります． 詳細情報は下記ウェブサイトをご参照ください．

Microsoft サポート：

[スライド ショーをナレーションとスライド切り替えのタイミングとともに記録する](#)

Microsoft サポート：

[プレゼンテーションをビデオに変換する](#)